

愛知県指定史跡

## 大地遺跡 (昭和29年3月12日指定)

大地遺跡は、岩倉市大地町野合地内、木曾川が形成した犬山扇状地の先端にできた自然堤防上、標高7.5メートルに位置し、尾張平野の弥生文化を究明していく上で非常に重要な遺跡です。

昭和26年、名古屋大学考古学研究室の指導で発掘調査が行われ、昭和22年に畑から出土した壺形土器は弥生中期前半に属する精製土器で、尾張平野北部を中心に分布することが判明し、以後この土器群は大地式土器と称されるようになりました。

また、調査では四隅が丸くなった長方形の竪穴住居址が発見され、床面から弥生中期前半の条痕文土器片および大地式土器と同様の波状口縁壺形土器片が出土しました。その他この遺跡から縄文時代後期や弥生時代中期・後期の土器も出土しています。なお、この市内で確認されている諸遺跡の多くはこうした自然堤防上に立地しており、大地遺跡以外のものとしてノンベ遺跡、西北出遺跡、曾野遺跡、町畑遺跡などがあります。



竪穴住居址 (昭和26年発掘当時)

岩倉市指定文化財

## 鳥居建民家 (昭和60年3月4日指定)

この民家は、岩倉町史編さんにあたり昭和30年に名古屋工業大学教授・故城戸工学博士に民家の調査をした時に、東町で見つかった石黒泰一さんの母屋です。

現在は、本来の石黒家を縮小し移築しておりますが、本来この地方の民家は、「田の字型」と呼ばれる四間取りのものが多いのですが、石黒家はそれの前身の三間取りで、ここにこの民家の重要性があります。

「鳥居建て」といわれる理由としては、オトグチから約90cm入ったところに主柱があり、これと対称的に、北の壁から約90cmひかえてまた主柱があります。この二本の主柱に梁がかかり、その下にツナギが一本横に渡してあります。この形が鳥居のような形になっていることから「鳥居建て」といわれていますが、この地方では「ヨツダテ」とも呼ばれており、このような建物には大黒柱はありません。

移築される以前は、わらぶきの平屋建入母屋造、軒は瓦ぶきという、この地方ではよくみられる普通の農家ですが、その内部は建築当初のまま、ほとんど手を加えたあとがなく、家屋の構造から見て遠く室町時代における農家の型式をそのまま残している極めて貴重な文化財です。



鳥居建民家



鳥居建民家 復元後 平面図



昭和39年までの石黒家の平面図

愛知県指定文化財

## 弥生式壺形土器 (広口壺・大地式土器) (昭和45年9月28日指定)

昭和22年に発見された壺形土器は、縄文土器のような文様を有し、頸部(くびれた部分)以下は弥生土器の形態をした、縄文式と弥生式との両方の特徴をそなえたため珍しいもので、全国的に大変注目を浴びました。

この壺が、縄文式か弥生式かをはっきりさせるため、昭和26年に発掘調査をおこなったところ、後期縄文式土器の細かい破片や、壺形土器によく似た土器片が見つかりました。この破片は文様に縄文式が残されてはいますが、形は前期弥生式の遠賀川式と呼ばれる土器によく似たものです。



弥生式壺形土器 (名古屋市博物館蔵)

この波状口縁の壺形土器は、東日本の縄文土器の文様をとりながら弥生時代の形をもち、東西の文化がとけ合っていることを示すものです。

また、この土器は型的には朝日式土器といわれるものですが、特にこの土器群は大地遺跡の名をとって大地式土器と呼ばれています。

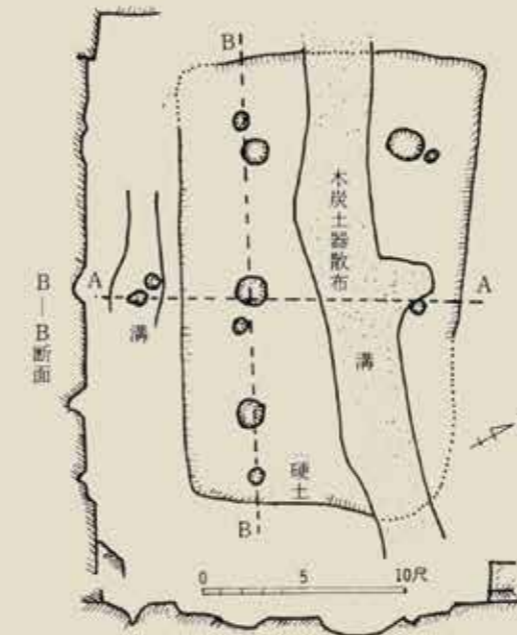
その他、表面に荒いほけ目のようなすじがつけられた条痕文系土器と呼ばれる土器の破片もかなり出土しました。これも縄文式の伝統は受け継いでいますが、時代はやはり弥生前期の土器です。

## 竪穴住居址

この竪穴住居址は昭和26年の発掘調査で発見され、地表より約1m下の砂層の地盤を20-30cm掘り下げたところにあり、東西約7m、南北約4mの四隅がやや丸くなった長方形をしています。

床面は平坦に踏み固められており、中でも東側の1辺の中央よりのやや南に寄った床面は、特に踏み固められていることから、ここが入口で、また西半分の四本の支柱が取り囲む範囲の床面には、木炭片や土器片が散乱しており、そこが炉であったと推測されています。

普通の竪穴住居は、主柱が4本建てで1室であるのに対し、この住居址には、3本ずつ東西に2列に並んで計6本の主柱址があり、内部が2つに分かれているところに特徴があります。また、主柱を小支柱が支えていたらしく、大小の柱穴の址もみつかりました。



A-A断面  
竪穴住居址実測図

また、この竪穴住居は、正常な長方形に近く、妻入(屋根の三角形部分から出入りする形式)であるとともに、炉が入口から奥まった所にあることから、すでに居住する場所と作業場としての場所、すなわち部屋の分化があらわれ始めていることにも特徴があります。このことから、現在では数少なくなりましたが「農家」の源流であるということを示す重要な建造物であると考えられています。



竪穴住居

いわくら し し ていぶん か ざいおよ しゅよう い せき いち むんひやう  
**岩倉市指定文化財及び主要遺跡一覧表**

**岩倉市指定文化財一覧表**

番号	種別	名称
1	有形	下本町山車
2	有形	大上市場山車
3	有形	中本町山車
4	彫刻	円空作観音立像
5	書跡	柿 経
6	工芸	金銅釈迦誕生仏
7	書跡	紺紙金字妙法蓮華経卷第六
8	工芸	鱗 口
9	考古	西出古墳出土品
10	考古	丹彩台付壺形土器
11	建造	鳥居建民家
12	考古	古市場遺跡出土須恵器
13	史跡	岩倉城跡
14	史跡	山内一豊誕生地
15	史跡	井上城跡
16	史跡	新溝神社
17	史跡	織田伊勢守信安夫妻墓
18	有形	鈴井町獅子館
19	史跡	大地遺跡(県指定)



10 丹彩台付壺形土器



12 古市場遺跡出土須恵器



9 西出古墳出土品

**岩倉市内主要遺跡一覧表**

記号	遺跡名	時代
A	八剣遺跡	縄文~古墳
B	七面山古墳	古墳
C	西広畑遺跡	弥生
D	梅ノ木遺跡	古墳
E	古市場遺跡	古墳
F	東町畑遺跡	弥生
G	西北出遺跡	縄文~古墳
H	ノンベ遺跡	縄文~古墳
I	曾野遺跡	弥生~平安
J	神清院古墳	古墳
K	御土井庵寺跡	弥生~室町
L	薬師堂庵寺跡	弥生~鎌倉
M	西出古墳	古墳
N	小森遺跡	弥生~室町

※いろいろな遺跡から、発見された土器や、民俗資料などが  
 岩倉市図書館3階郷土資料室・くすのきの家2階展示室に展示してありますので、ご覧ください。

**公園では次のことを守りましょう。**

- 花火・たき火など、火あそびをしないこと
- 道路への飛び出しは絶対にしないこと
- 自転車・オートバイなどを乗り入れないこと
- 空カン・空ビン・ゴミなどをすてないこと
- 犬、その他の動物を連れて園内に入らないこと
- 木に登ったり、木を折ったりしないこと
- 他人に迷惑になることをしないこと

**岩倉市教育委員会  
生涯学習課**

〒482-8686 岩倉市栄町一丁目66番地  
 TEL (0587)38-5819  
 FAX (0587)66-6100

# 岩倉市史跡公園



**岩倉市教育委員会**